令和５年度　さいたま市立新開小学校　第１回学校運営協議会　議事録

１　日時

令和５年６月１日（木）１０：００～１３：００

２　場所

会議室

３　参加者

	氏　名（ふりがな）	性別	役職等
1	宇佐見　香代（うさみ　かよ）	男	埼玉大学教育学部教授
2	小林　喜雄（こばやし　よしお）	女	青少年育成新開地区会相談役
3	前田　三恵子（まえだ　みえこ）	女	青少年育成会新開地区会副会長
4	大貫　充（おおぬき　みつる）	男	青少年育成新開地区会会長
5	林　大悟（はやし　だいご）	男	青少年育成会新開地区会副会長
6	飯室　修（いいむろ　おさむ）	男	桜田３丁目自治会長
7	田中　輝明（たなか　てるあき）	男	ラミーユ浦和防犯ボランティア
8	屋代　光昭（やしろ　みつあき）	男	新開自治新和会長
9	海藤　貴子（かいどう　たかこ）	女	新開小学校図書ボランティア会長
10	坂下　三浩（さかした　みつひろ）	男	新開小学校 PTA 会長
11	須田　登志子（すだ　としこ）	女	新開小学校前 PTA 副会長
12	白石　徳一郎（しらいし　とくいちろう）	男	校長
13	宇野　直記（うの　なおき）	男	教頭
14	霜垣　良輔（しもがき　りょうすけ）	男	教務主任
15	湯本　信久（ゆもと　のぶひさ）	男	学校地域連携コーディネーター

※欠席者

大貫　充

４　内容

（１）　校長あいさつ

（２）　自己紹介

（３）　委嘱状・任命書の交付

（４）　学校運営協議会の概要説明

（５）　委員長、副委員長の選出

　開会

（６）　委員長による開会宣言

（７）　学校経営方針について

（８）　いじめ防止基本方針について

（１０）熟議

〇熟議テーマ「地域のつながりを大切にする地元を愛する子を育てたい」

・子どもたちの課題について（あいさつ、いじめ等）

・学校、家庭、地域が連携・協働して行うことについて

（だれが、いつ、何を（内容）、どのように（方法）するか）

（１１）　事務連絡

・個人番号申告書と通帳の写しの提出を確認

・防犯ボランティア団体表彰

（１２）　閉会

【議事詳細】

<table>
<tr><th>議　事</th><th>発言内容</th><th>回　答</th></tr>
<tr><td>（１）学校経営方針</td><td colspan="2">・学校経営方針
・グランドデザイン
・ユネスコスクール全体計画
・令和５年度学校自己評価システムシート</td></tr>
<tr><td></td><td>ブログは誰が担当なのか。</td><td>各学年が自分の学年の行事のことを書く。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">HP が見やすくなっている。</td></tr>
<tr><td></td><td>①　学力向上について
実感として、どんな力が弱いのか。</td><td>学力は広義なので。客観的指標としては、全国調査の結果、市学調の結果。問題構成は、複数の資料を読み取って回答する力が求められている。</td></tr>
<tr><td></td><td>学校に行くのが楽しいは、全国的にみて高い。</td><td>平均と比べると高い。意欲は低くない。前向きに取り組もうとする気持ちはある。校長が申し上げた力はまだ足りない。基礎学力はついているが、応用的な力はまだまだ。これからタブレットの活用や授業改善で高めていきたい。</td></tr>
<tr><td></td><td>クラスを２つにわけて、少人数での指導は今年はやるのか。</td><td>去年は高学年でやっていた。本年度も検討している。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">これから、AI が入ってきて大変だ。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">いじめがあった。
昨日の下校中、黄色コース　T 字路を曲がった、１年男子が帽子をとられて投げられた。３～４年生の男児１人に。ラミーユか田島の班。</td></tr>
<tr><td>（３）熟議</td><td>SSN はどんな団体の代表？</td><td>学校にかかわるそれぞれの立場の方で構成されている。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">老人会の会長もやっている。老人会にも案内が欲しい。</td></tr>
<tr><td></td><td>SSN　は総勢何人？</td><td>２６名。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">学校だよりにある「感謝」がすべて。残業時間が多い。親と地域ができることがある。教員に負担がかかる。白石校長に残っていただいたのはありがたい。地域との連携を大切にしている校長。昔は、地域と子どもで、通学路の清掃をやっていた。地域でやれることは地域で。教員に負担はかけられない。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">本メンバーが継続していけるように働きかけてほしい。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">SSN に出ない人たちが、６／５に行われる会議の趣旨（子ども</td></tr>
</table>

	たちの育成のために協力をする）についてもっと理解してほしい。 人数が少なくなってなくなる自治会があり、残念だ。子どもたちがかわいそう。
	これまでは、支援していただいていた。これからは地域に何ができるか。
	これまで大きな事故事件がなかったのは、地域の力。もっと若い人の力を。
	毎朝、見守りに感謝している。しかし、すべての保護者が、ボランティアの方の活動を理解し、感謝しているかどうかがわからない。なので、それを広めるために広報誌で紹介した。
	わかるけれど、表の舞台にでてこない。もっと広まってほしい。もっと会議にでてほしい。育成会もそう。
	新開小学校地区は素晴らしい。 本来のボランティアの立場について思うところがある。さみしい思いもある。 あいさつができる子であれば、大人になってもどってきてもあいさつできるようになる。挨拶ができる地区は事件が少ない。
	情報提供が必要。学校の現状を。会えれば直接話せるが、コミュニケーションできる場があれば。会えない人とのコミュニケーションの場をどうするか。
	お会いすると挨拶ができ、関係ができる。
	安心安全の確保 角度を変えると、少子化、核家族化、コミュニケーション不足があって、人間関係の希薄さの中で。 授業を拝見すると、昔は、大人の背中をみてそだった。今の子は、タブレット利用ということで、扱いになれているが、それぞれの行事に積極的に活動に入る、大人がどんどんしかけているとよい。 保護者の委員に聞きたい。 親の本音は、役員にならなくていいのなら、入ります。連携が継続は大切だが、やることはほかにもある。 ４年ぶりに夏祭りをやったが、地域とのふれあいを実感させたい。子どもたちが喜ぶもの、お年寄りが喜ぶもの。なぜ、地域によれないのか根本を考えた方がよい。
	子どもにとって魅力のあるものをやる必要がある。コロナでストレスたまっている。次の世代を育てるのに、子どもたちに夢をもたせるなど、地域にうまれてよかったとおもえる活動を大人がしかける必要がある。 つらい思いをした子供たちがいる。地元を愛する子どもたち

	育成会はついていくだけ。
	子どもは祭りを欲しているのがわかった。ひつわ自治会は子どもが必要な活動はできていないが、４０代の会長のもと、先月、子どものいる家族で自治会に集まって食事会をした。その場で、防犯ボランティアへの声掛けを。ひつわは子どもがいる家庭が防犯ボランティアをやっている。地域との結びつきを作っていきたい。
	PTA 会長は、朝、毎日登校班と一緒に歩いている。感謝。
	町谷の子どもたちが年間を通して太鼓のれんしゅうをしている。親もついていく。
	読み聞かせで年に何度かくる。 朝、挨拶をしても、知らん顔をする子もいる。子供の方からも地域の方に挨拶ができる関係性を。 防犯ボランティアに感謝、申し訳ない。 挨拶ができる地区は事件が少ない。例えば、声掛け事案も、挨拶が飛び交う地区だと抑制になるかも。 お話ができる関係がよい。桜田も自治会の方々も平均年齢が高い。心配だが、自分たちの世代は仕事があり、申し訳ないおもい。大人から地域を愛しなさいではなく、大人が積極的にかかわっていく。こどもを連れて、祭りなどに参加をしたい。
	学校を核とした地域づくり。 学校から地域の皆さんに提案する。防災のテーマで学習を考えたときに、発表会を地域の方向けへ。地域に住んでいる皆さんにも聞いてもらうとよい。子供たちの学びにくみこんでいけば、自然とかかわわりがうまれる。ゲストティーチャーもかかわりがあるが、もっと広く聞いてもらいたい。学校からの働きかけもあるとよい。 例えば、110 番の家について、子どもたちはどこまで実感を持って認識しているか。そういった意味で地域に溶け込んでいない。地域の方の関心を。昔から住んでいる人に地域の災害をきく。祭りで楽しませてもらうだけではなく、発表をきいてもらうなど、もっと地域を子どもたちの学びの場にしていく。そういう考え方が大切。地域への説明がふつうは大変だが、もうこの地域はそれが不要。
	自転車免許も、４年だけにせず、保護者に広く伝えて。
	そう、大人も自転車に載っている。つながりはたくさんある。大変だが。
	これからのこと。 １　田島の方との繋がりが少し薄い。田島の獅子舞のように、すでにつながっているので、こういう場でお会いしてもよい。

	７月の行事を案内することが大事。 ２　子供が喜ぶ学校の教育活動を。地域に目をむけたような学習を。地域の方とあいさつ、話をできる関係性。防犯ボランティアへのインタビューはその一環。 活動が形骸化せず、中身のあるもについて。 サクラソウのこと。 防犯・防犯について。自分で調べるなどの積極的な学習を。工夫できる余地はある。